



平家の落人として逃れてきた「くにひさ公」が住んだことを地域の名称の由来としている国久集落。秋保と本砂金方面を結ぶ往還の道筋にあつて、古からの風情を今に留めています。  
集落の西には八坂神社を祀り、そのたたずまいは、自然の沢と崖に囲まれた森閑とした空間にあり、先人の祈りが感じられる場所です。

秋保温泉から車で15分。秋保大滝へと向かう二口街道を長袋から左に折れ、川崎方面へ向かって、道路脇に並ぶ石碑が見えてくると石神集落のはじまりだ。

そこから先には、個性的なお店がギュッと集まったゆめの森、山上で厳かに鎮座する石神様、小川と橋の参道が美しい国久の八坂神社、本砂金川に沿ったモミジの小道がどこまでも続く。

知る人ぞ知る魅力の詰まったエリアです。さあ、あなたの知らない秋保を、ぐるりんと巡ってみませんか。

# 秋保

ぐるりんあきうと  
いしがみ くぬぎゆう  
巡る石神・国久



地域の北西にある連山の頂には、地名の由来となった巨岩の神様が鎮座する石神集落、古くから、病除けにご利益がある山間の小さな集落として知られてきました。  
昭和の終り頃からは、菅刈山の環境を愛する人々が、陶芸や花工房、歌舞団稽古場やカフェ、雑貨などのお店が集まり、豊かな自然の中で「ゆめの森」を形作っています。

## 「ぐるりんあきう」に乗ってみよう！

石神・国久に行ってみたいけど、車がないなあ…という方、乗合タクシーの「ぐるりんあきう」を利用してみたいかがでしょうか？ 平日限定ではありますが、秋保町内であればどこでも利用可能な便利な地域交通です。

### 例えば

秋保・里センターから石神・国久まで片道  
運賃400円（小学生以下200円）  
所要時間：約15分

予約受付 022-393-5912 (有限会社秋保交通)

受付時間 平日6時～17時

WEB予約はこちら➡



### ※利用上の注意

- ・ぐるりんあきうは平日限定です
- ・WEB予約はご利用の2日前まで
- ・電話予約はご利用の1時間前まで

## 秋保 ぐるりんあきうと 巡る石神・国久

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市  
連絡先：秋保総合支所まちづくり推進課 (022-399-2111)  
秋保市民センター (022-399-2316)

さくさくと小道をゆっくり歩く

風の音、野鳥の声、樹木の生氣

病に立ち向かった先人の想い

里山の息吹と暮らしを感じる

訪れてみたい秋保  
二口街道ツアー 62

No.52

掲載されている情報は、令和7年3月現在のものです。



9人乗りワゴン  
車で中は広々♪

秋保・里センターからぐるりん秋保に乗車！



**1 石神集落入口の石碑群**  
道端に石碑が並んでいるあたりが石神の入口、ここから右に入り歩いていくと棚田や沢などが美しい里山の景観を見ることができます。



**2 向坂から石神山に連なる山々**  
山々の谷あいを通り流れてくる大柴沢に架る小さな橋。橋の袂からは、北側に自然豊かな石神山の連山の景観を見ることができます。その山中には、地名の由来となった「疱瘡神(ほうそうがみ)」が祀られています。疱瘡(天然痘)は、古は治療法がなく、命を落とす病として恐れられていました。古くから皮膚の病に利く神様として秋保内外から多くの参詣者が訪れたと伝わっています。  
(※石神山や疱瘡神は、私有地のため一般の方は自由に入ることにはできませんのでご注意ください)

**3 手づくりの山里 ゆめの森**

1982年11月に彫刻工房を構えたのがはじまりで、今ではアートや自然を愛する人々が石神に移り住み、個性豊かな山里ができました。時間のあるときに、ゆっくり巡って、買い物やお茶っこを楽しめます。



わたしの雑貨&セラピー  
**らべんだあ**

地元の作家さんの作品や、手づくりジャムなど、ここでしか手に入らないものが沢山！



花工房 **はゆな花壇**

四季折々の花を育てています。アグリエの森や里センターの植栽も手がけているそう！



民族歌舞団 **ほうねん座**

迫力ある民俗芸能での舞台上演が魅力です。60年以上の実績があり、南東北を中心に全国で年間130公演を行っています。ゆめの森には稽古場があり、事前予約で太鼓体験を楽しむことができます。



ギャラリー **石神窯**

素材で味わいのある焼き物が人気で、陶芸体験もできます。



秋保の**家**

石臼で豆から挽く珈琲が人気です。



菅刈山が田植え後の田んぼに映る



土手を歩いてみると農の営みを感じる

いしがみ くぬぎゅう  
**巡る石神・国久**

ぐるりんあきうで



**5 八坂神社(やさかじんじゃ)**

市道からの鳥居が目印。鳥居をくぐり樹木で覆われた社殿へと進むと、石段を下り小さな沢を渡ります。そこから神域となる階段を上り、長床を越えたところが境内で、山里の鎮守らしい雰囲気あるたたずまいです。長床や鐘撞堂、狛犬などもあり、かつては神楽や田植踊なども奉納されたと云います。京都祇園の八坂神社から勧請されたものと伝わり、祭神は「素戔嗚尊」で牛頭天王にあやかって、キュウリが供えられ、地元では今もキュウリを作らない、食べないという家があると云います。



本砂金川に降りることもできますが、崖道なので要注意！

**4 菅刈から向国久の小道(徒歩での往復のみ約40分)**

国道457号から菅刈への脇道に入ると、向国久まで1kmほどの小道があります。本砂金川の流れて続く緩やかな砂利道で、四季折々に自然豊かな景観が楽しめる知られざる散策スポットです。とりわけ新緑と紅葉の時期は格別です。ただし極端に道が狭く車での交差は出来ませんので、徒歩のみでの散策がおススメです。

